

ニイガタ・クリーンメタル

休業無災害4300日達成

宮田グループで自動車、OA機器、家電等各種破砕業のニイガタ・クリーンメタル(本社・柏崎市、社長・宮田康雄氏)は7月7日、休業無災害4300日を達成した。この記録は中央労働災害防止協会が認定する無災害記録証授与制度の対象となり、金属製品製造業(10~29人)の部門、銀賞に相当する。都道府県労働基準協会連合会を経て、中央労働災害防止協会へ申請し、後日記録証と副賞(表彰楯)が授与され、事業所名と記録日数は安全衛生年鑑に記録される。

府員全員が安全活動の意識付けを行っている。年に4回程度、グループ企業やISOの頭文字をとったMINY委員会を開催し、各事業所の責任者が事例報告を行い持ち帰った情報、意識、知識を全社で共有する。

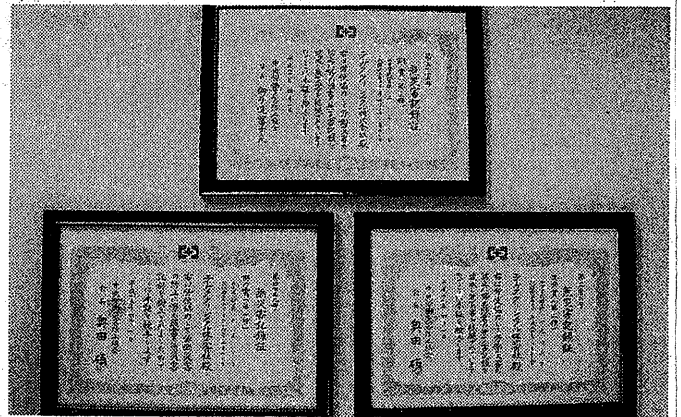
労働に限らずトラブル発生時は第一報を周知し注意喚起し、その後発生原因や詳細を共有する。

宮田社長は達成に際し「この先も未来永劫継続していきたいが、一つの節目だ。朝礼ではグループお互いがラ

く上で安全がとて大事故なこと。品質、環境もそうだが、安全に間違いなく仕事をやり遂げることが信頼を得るのに重要な要素である

解体時は異物の除去が安全活動を継続する上で重要だ。自動車解体前に見落としたスプレー缶や発煙筒による

昨年3月、創立90周年を迎えた宮田才吉商店グループ。日頃のソフト、ハード両面での取り組みが安全を支えている。



無災害の表彰

イバルだことには間違いない」が頑張ろうと休業災害ゼロに努力している。安全に対する考えは優先する。お客様から仕事をさせ

発火が長く問題視されていたが、近年日本煙筒工業会が支援し解体業者に呼びかけ、シュレッター前の抜き取り励行が進んだ。過去年間5~10回ペースだった発火は1、2件に激減。さらに防火設備を強化し、固定式散水装置や取水場所を複数確保し、フレイムセンサー(感知器)、回転灯も設置し見落としをなくした。

何よりも優先する。お客様から仕事をさせたい。記録を伸ばしている。昨年3月、創立90周年を迎えた宮田才吉商店グループ。日頃のソフト、ハード両面での取り組みが安全を支えている。